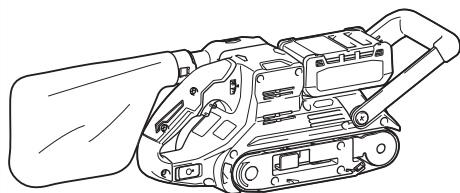


Makita

取扱説明書

76 mm充電式 ベルトサンダ

モデル BS001G



このたびは76 mm充電式ベルトサンダをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	3
各部名称	16
標準付属品の確認	17
別販売品のご紹介	18

ご使用前の準備

組み立て	21
バッテリーの充電	23
バッテリー/充電器の取り扱い	24
使用前に知っておいていただきたいこと	25

使い方

サンディングベルトの取り付け/取りはずし方法	26
バッテリーの取り付け/取りはずし方法	29
本製品の操作	30
・ フロントハンドルの調整	30
・ スイッチの操作	31
・ スピード調整ダイヤルの操作	32
・ ライトの点灯	32
・ 研削方法	33
・ 研削粉の捨て方	33
・ サンディングシュー（別販売品）を使った研削方法	34
・ 逆さ使用	37
無線連動機能（AWS）	40

保守／点検

保守	51
故障かな？と思ったら	52

はじめに

主要機能

主要機能 \ モデル	BS001G
電動機	DC ブラシレスモータ
バッテリー (別販売品)	リチウムイオンバッテリー 対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を 参照ください。
電圧	直流 36 V (40 V max) ※
ベルトサイズ	76 mm × 533 mm
ベルト周速	2.0 ~ 7.8 m/s (120 ~ 470 m/min)
防じん・防水保護等級	IPX6
振動 3 軸合成値	< 2.5 m/s ²

※：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

- ・ 振動 3 軸合成値は EN62841-2-4 規格に基づき測定。
- ・ 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブ
サイト：(<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>)
をご参照ください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご
了承ください。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4020	4.4 kg	440 mm × 148 mm × 165 mm
BL4025	4.4 kg	440 mm × 148 mm × 165 mm
BL4040	4.7 kg	440 mm × 148 mm × 165 mm
BL4040F	4.7 kg	440 mm × 148 mm × 165 mm
BL4050F	5.0 kg	440 mm × 148 mm × 184 mm

1 回の充電での作業量 (参考値)

- ・ バッテリーの状態、周囲温度、被削材により異なります。

使用バッテリー	被削材	作業量
BL4040	米松	約 204 g

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
- ＜異常・故障例＞
- ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式ベルトサンダ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式ベルトサンダとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
2. 本製品を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 思わぬけがの原因になります。
3. 材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・ 不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
4. クランプ使用時以外は材料を手にとっての研削はしないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中は切粉排出口に指などを入れないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 鋼板など火花が発生する被削材を研削する場合は集じん機を使用しないでください。
 - ・ 集じん機の故障や破損の原因になります。
7. 鉄を研削する場合、研削粉は火花となって飛散しますので、引火しやすいものや、傷つきやすいものは危険のないところへ遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - ・ 火災ややけどの原因になります。
8. アルミやマグネシウムなどを研削しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 以下の場合にはダストバッグを掃除して、粉じんを取り除いてください。残った粉じんは発火の原因になります。
 - ・ 木材などを研磨した後に、鋼板を研磨するとき
 - ・ 研磨作業終了後
11. 重負荷で長時間鋼板を研磨しないでください。
 - ・ 熱を持った研磨粉でダストバッグが損傷する恐れがあります。
12. 水、研削液などは使用しないでください。
 - ・ 本製品故障の原因になります。
13. 塗料や被削材の中には有害な物質を含むものもあります。材料メーカーの安全指示に従って作業をしてください。

⚠ 注意

1. サンディングベルトや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、サンディングベルトが稼働する範囲に手や顔など身体を近づけないでください。
 - ・ サンディングベルトに触れ、けがの原因になります。
3. スイッチを切った後も、惰性で回転しているサンディングベルトに注意してください。
 - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれけがの原因になります。
6. 本製品が破損した状態で使用しないでください。
 - ・ 破損した状態で使用すると、回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
7. サンディングベルトが回転しているときは、台や床などに本製品を放置しないでください。
 - ・ 本製品が自走して、けがの原因になります。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

集じん機に内蔵されているワイヤレスユニットは取りはずしはできません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

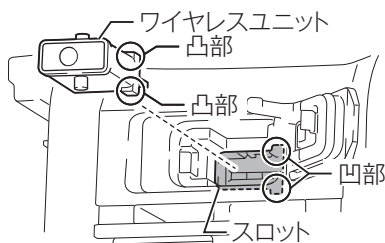
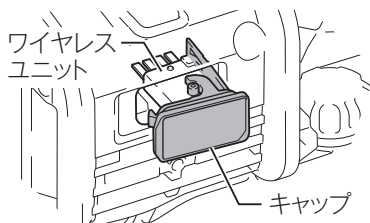
1. バッテリーが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50℃を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
 - ・ 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを取りはずして保管する際は付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押したりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付けければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

⚠ 警告

20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
 - ・ 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。
21. 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし、工具と集じん機の間には障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
 - ・ 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

⚠ 注意

1. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
2. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの方法については使用する工具の取扱説明書を合わせて参照してください。
3. 工具側のキャップをあける際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
4. スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
5. ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
6. ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に挿し込まないでください。
7. キャップが開いた状態で使用しないでください。



※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ/min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ/min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

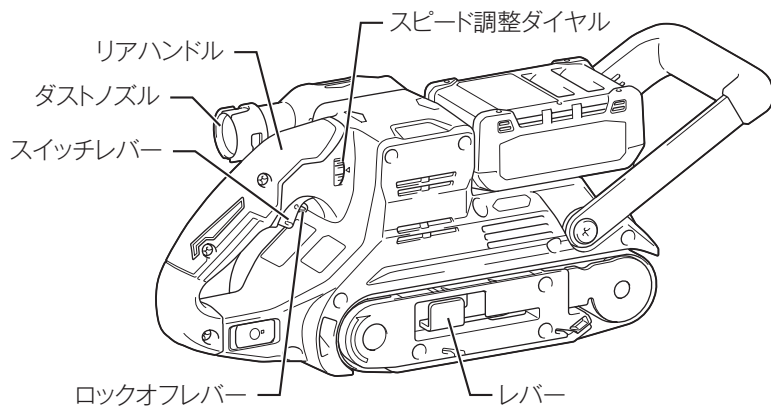
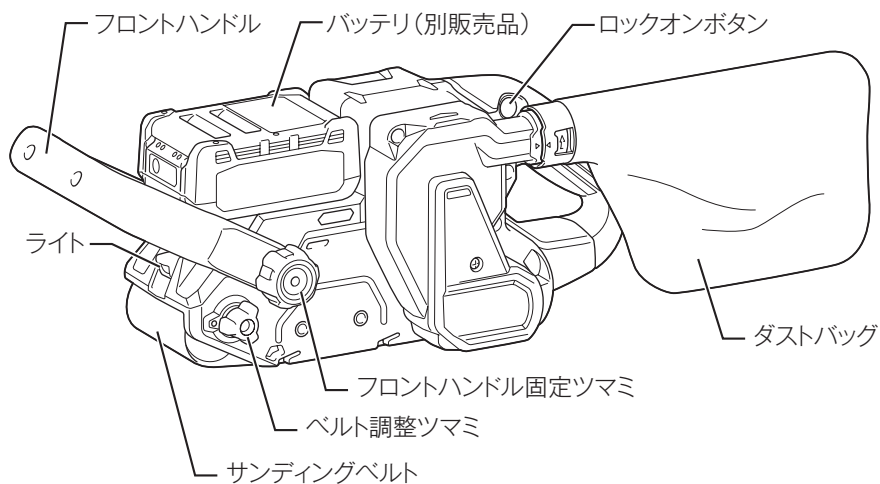
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具本体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称



標準付属品の確認

標準付属品	モデル	BS001GZ
	ダストバッグ	○
	サンディングベルト（粒度 80）※	○

※：本製品に取り付けてあります。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ サンディングベルト

用途	種類	粒度	76 × 533 mm (10 枚入)
			部品番号
AA 鉄工用	粗仕上	30	A-32552
		40	A-32568
		60	A-32574
	中仕上	80	A-32580
		100	A-32596
		120	A-32605
	仕 上	150	A-32611
		180	A-32627
		240	A-32633
		320	A-32649
		400	A-32655
WA 木工用	粗仕上	40	A-32471
		60	A-32487
	中仕上	80	A-32493
		100	A-32502
		120	A-32518
	仕 上	150	A-32524
		180	A-32530
		240	A-32546
CC 石材、 プラス チック用	粗仕上	40	A-24072
		60	A-24088
	中仕上	80	A-24094
		100	A-24103
		120	A-24119
	仕 上	150	A-24125
		180	A-24131
		240	A-24147

- ・ ガイドルールセット品
部品番号：1915E2-3
- ・ サンディングシュー
部品番号：193070-7
- ・ クランプセット品（2 個 1 組）
部品番号：A-19772
- ・ ワイヤレスユニット（WUT01）
部品番号：A-66151
無線連動機能を使用するには、ワイヤレスユニットと無線連動機能に対応したマキタ製工具と集じん機が必要です。

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2 口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2 口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- 充電器用互換アダプタ (ADP10)
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。
- ポータブル電源ユニット (PDC01) ※ 1、※ 2
部品番号：A-69098
※ 1 PDC01 使用時は IPX4 に適合
※ 2 別途 18 V バッテリーが必要です。
- ポータブル電源ユニット (PDC1200)
部品番号：A-71825
- アダプタセット品 40 Vmax × 1
部品番号：A-72241
※ポータブル電源ユニット PDC01、PDC1200 使用時に必要となるアダプタです。
- バッテリーアダプタ (BAP001G)
部品番号：A-75817
バッテリーを分離させて、腕の負担を軽減します。
※このアクセサリは BL4020、BL4025、BL4040、BL4040F でお使いいただけます。

ご使用前の準備

組み立て

⚠ 警告

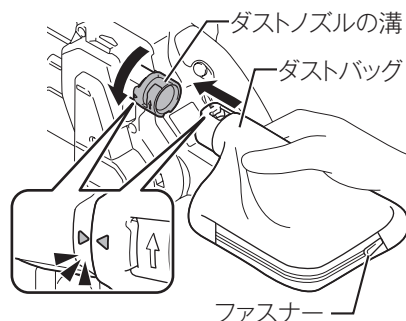
付属品や別販売品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

ダストバッグの取り付け／取りはずし方法

■ 取り付け方

1. ダストバッグのファスナーが閉まっていることを確認します。
2. ダストバッグの▲をダストノズルの溝に合わせ、はめ込みます。
3. ▼と▲が一直線になるまでダストバッグを左に回します。
 - ・ ダストバッグが固定されます。



■ 取りはずし方

1. ダストバッグの接続部を矢印の方向に止まるまで回します。
2. ダストバッグを引き抜きます。

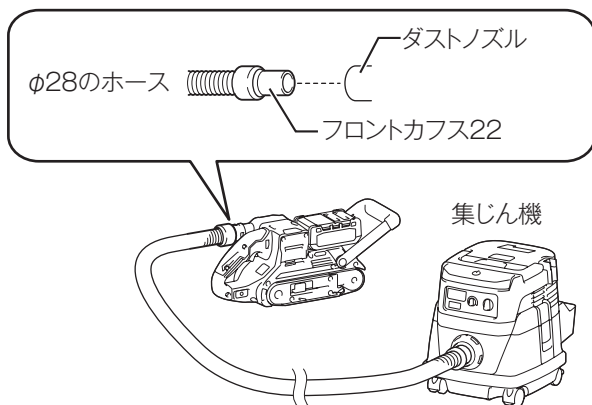


集じん機（別販売品）との接続

- ・ 集じん機と本製品を接続して使用します。

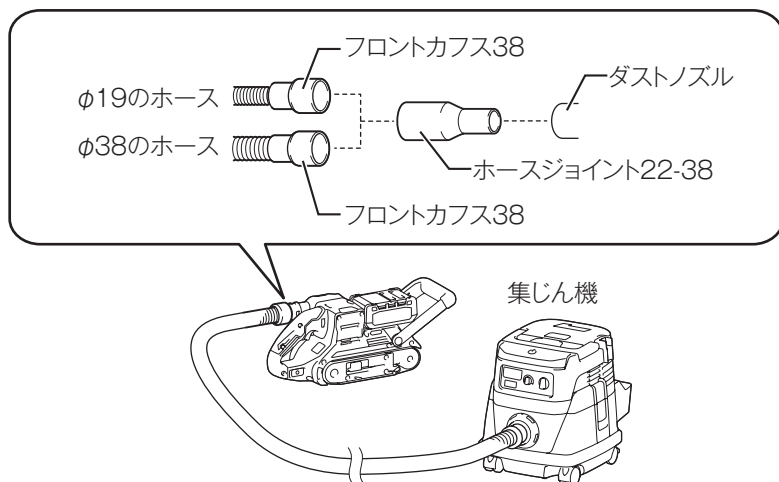
■ 集じん機付属のホースがφ 28 の場合

1. 集じん機付属のホースにフロントカフス 22（別販売品）を取り付けます。
2. フロントカフス 22 を本製品のダストノズルに取り付けます。



■ 集じん機付属のホースがφ 19 またはφ 38 の場合

1. 集じん機付属のホースにフロントカフス 38（別販売品）を取り付けます。
2. フロントカフス 38 をホースジョイント 22-38（別販売品）に取り付けます。
3. ホースジョイント 22-38 を本製品のダストノズルに取り付けます。

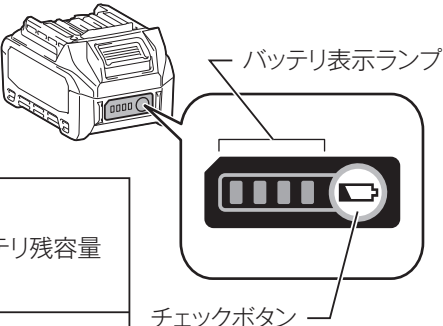


バッテリーの充電

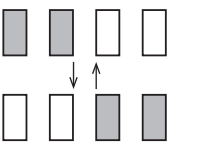
- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



The diagram shows the device with a callout to the battery indicator lamp and the check button. The lamp is located on the front panel, and the check button is a small circular button next to it.

バッテリー表示ランプ  :点灯  :点滅  :消灯	バッテリー残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

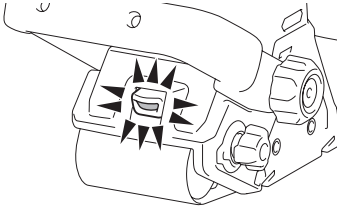
充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能	お知らせ表示
- 本製品およびバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。 - 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電冷却をしてください。 - バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。	 ライトが点滅
- バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 - 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。	
- 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 - いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。	

- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（52 ページ参照）に従って点検してください。

再起動防止機能

- 本製品には再起動防止機能を備えています。
スイッチレバーを引いた状態でバッテリーを差し込んでも起動しません。その際は、スイッチレバーを放してから、再度スイッチレバーを引くと起動します。

サンディングベルトの取り付け／取りはずし方法

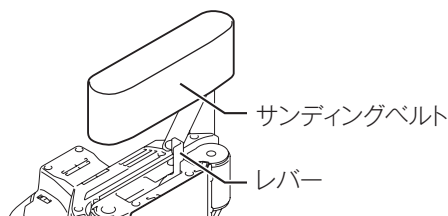
⚠ 警告

サンディングベルトの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

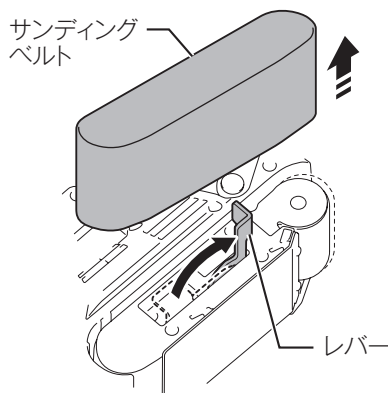
⚠ 注意

サンディングベルトの取り付け、取りはずしの際は、レバーやサンディングベルトなどで指をはさまないように注意してください。

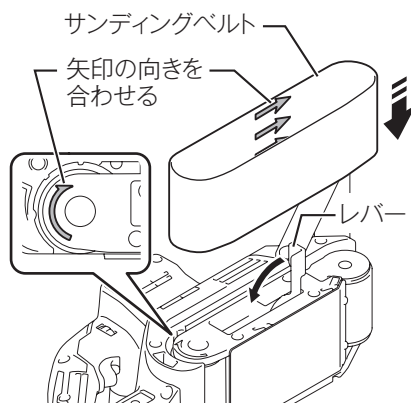


サンディングベルトを取り付けるときは、本製品に付いている矢印とサンディングベルト裏面に付いている矢印の方向を合わせてください。

- ・ 矢印に合わせないと、サンディングベルトの寿命を短くしたり、けがの原因となります。
1. レバーが上向きになるように、本製品を置きます。
 2. レバーをいっぱいまで引き起こします。
 3. サンディングベルトを取りはずします。

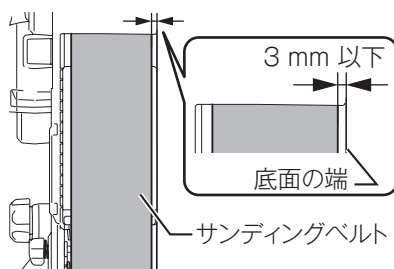


4. 本製品とサンディングベルト内側の矢印の向きを合わせ、新しいサンディングベルトをはめ込みます。
5. レバーをもとに戻します。

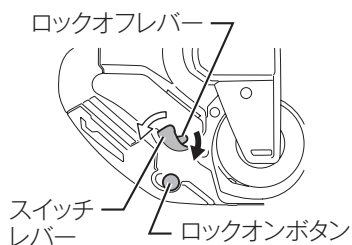


ベルトの位置調整

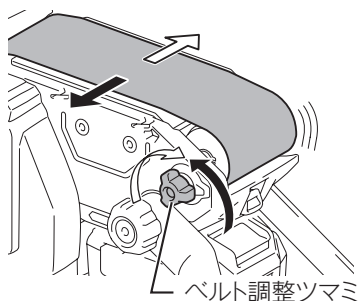
1. バッテリーを取り付けます (29 ページ参照)。
2. フロントハンドルをいちばん前まで倒し、フロントハンドル固定ツマミで固定します (30 ページ参照)。
3. ライトの角度をいちばん上に調節します (32 ページ参照)。
4. サンディングベルトが上向きになるように、本製品をひっくり返します。
5. サンディングベルトが底面の端から 3 mm 以下の位置あることを確認します。



6. サンディングベルトの位置を調整する場合は、ロックオフレバーを下げて、スイッチレバーを押し込みます。
7. スイッチレバーを押し込んだ状態で、ロックオンボタンを押し込みます。
 - ・ 本製品が連続運転の状態になります (31 ページ参照)。



8. ベルト調整ツマミを回して、サンディングベルトの位置を調整します。
 - ・ 左に回すと、サンディングベルトは左に移動します。
 - ・ 右に回すと、サンディングベルトは右に移動します。
9. サンディングベルトの調整が終わったら、スイッチレバーを押し込み、スイッチレバーを放します。
 - ・ スイッチが切れます。



バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

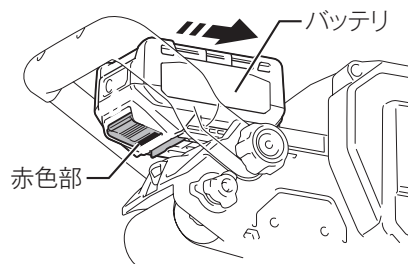
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

■ 取り付け方

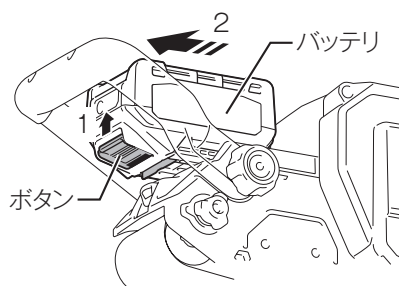
- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4040の取り付け例です。

■ 取りはずし方

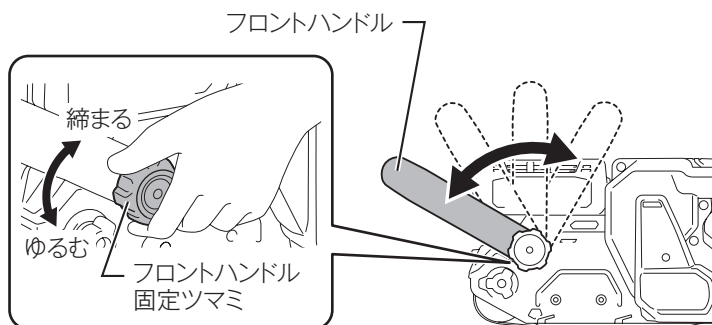
- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



本製品の操作

フロントハンドルの調整

1. フロントハンドル固定ツマミをゆるめます。
2. フロントハンドルの位置を調整します。
3. フロントハンドル固定ツマミを締めて、固定します。



スイッチの操作

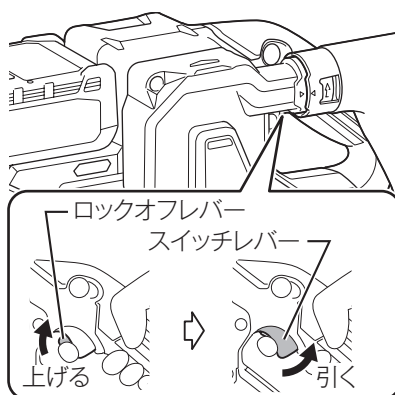
⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと事故の原因になります。

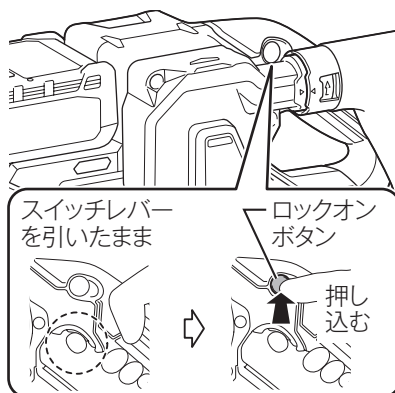
■ スイッチを入れる／切る

- ・ スイッチを入れるには、ロックオフレバーを上げてスイッチレバーを引きます。
- ・ スイッチを切るには、スイッチレバーから指を放します。ロックオフレバーが自動的に戻り、スイッチが入らない状態になります。



■ 連続運転を行う／停止する

- ・ 連続運転を行うには、スイッチレバーを引いたままロックオンボタンを押し込みます。スイッチレバーを放してもスイッチレバーが固定され、連続運転の状態を維持します。
- ・ 連続運転を停止するには、連続運転中にスイッチレバーを引いてロックオンボタンが戻ってから、スイッチレバーを放します。

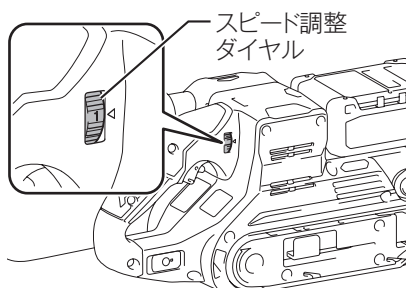


注

- ・ スイッチの入／切は本製品を加工面から離して行ってください。加工面に本製品を置いたままスイッチの入／切をしますと、加工面を傷つけたり、サンディングベルトを破損させることがあります。

スピード調整ダイヤルの操作

- ・ サンディングベルトの速度を変えるときは、スピード調整ダイヤルを回します。
材料や用途に応じて速度を調整してください。
- ・ ダイヤルの表示は 1 から 5 まであります。数字が大きくなるに従ってサンディングベルトの速度が速くなります。



注

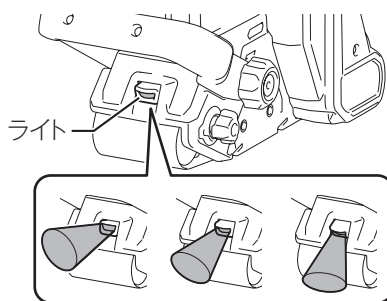
- ・ スピード調整ダイヤルは 1 → 5、5 → 1 へと回すことができません。無理に回しますと故障の原因となります。必ず、1 → 2 → 3 → 4 → 5、5 → 4 → 3 → 2 → 1 の範囲で回してください。

ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当たったりしないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。
- ・ スイッチレバーを引くとライトが点灯します。
- ・ スイッチレバーを放してから約 10 秒後にライトが消灯します。
- ・ ライトの角度は 3 段階に調節できます。



注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズをいためます。

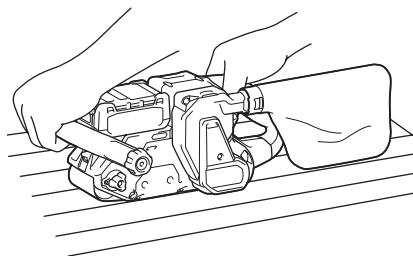
研削方法

⚠ 警告

鋼板の研磨など、火花が発生する作業時は充電工具用集じん機を使用しないでください。

- ・ ホースが研磨粉の熱で溶ける、あるいは集じん機が焼損する恐れがあります。

1. フロントハンドルおよびリアハンドルを持ちます。
2. スイッチを入れます。
3. 加工面にサンディングベルトが均一に軽く当たるように本製品を保持します。
4. 本製品を前後に動かして研削します。



注

- ・ 本製品は加工面に対し、軽く当てる程度でご使用ください。強く押しつけますと能率が悪くなり、サンディングベルトの寿命も短くなります。
- ・ ドライウォールを研削する場合は、集じん機を取り付けてご使用ください。
- ・ スイッチの入／切は本製品を加工面から離して行ってください。加工面に本製品を置いたままスイッチの入／切をしますと、加工面を傷つけたり、サンディングベルトを破損させることがあります。

研削粉の捨て方

⚠ 警告

研削粉を捨てる際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

1. 本製品からダストバッグを取りはずします（21 ページ参照）。
2. ファスナーを開いて、中の研削粉を捨てます。



サンディングシュー（別販売品）を使った研削方法

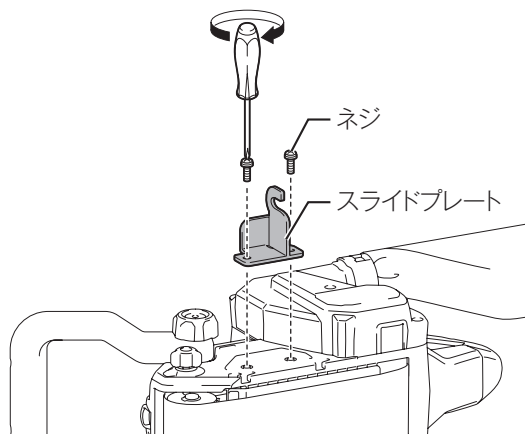
⚠ 警告

サンディングシューの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

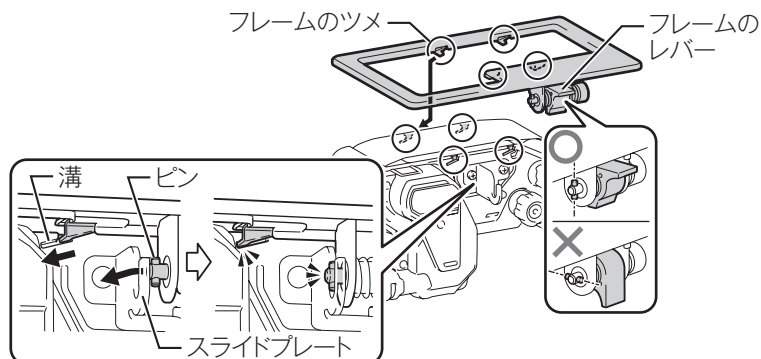
- ・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。
- ・ サンディングシューを本製品に取り付けることで研削面をより平滑にできます。

■ サンディングシューの取り付け方

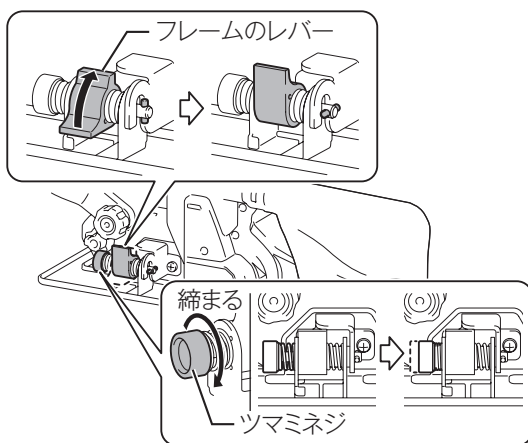
1. フロントハンドルをいちばん前まで倒し、フロントハンドル固定ツマミで固定します（30 ページ参照）。
2. ドライバを使って、スライドプレートにネジ（2箇所）で固定します。



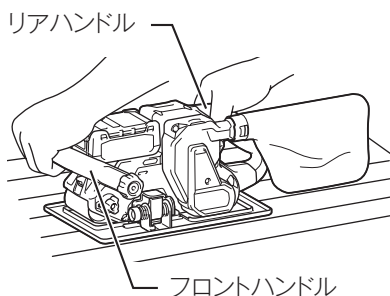
3. サンディングベルトが上向きになるように、本製品をひっくり返します。
4. フレームのレバーが上がっていることを確認し、フレームのツメ（4箇所）を溝に入れ、後ろに引きます。
 - ・ ピンがスライドプレートに通ります。



5. サンディングベルトが下向きになるように、本製品をひっくり返します。
6. フレームのレバーを上げ、ツマミネジを締めます。
 - ・ フレームが固定されます。

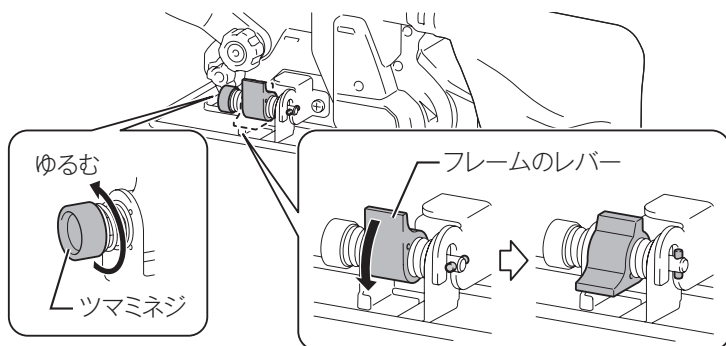


7. 通常の研削方法と同様にフロントハンドルおよびリアハンドルを持ち研削します。

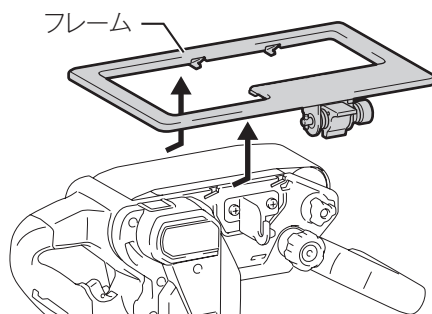


■ サンディングシュューの取りはずし方

1. ツマミネジを回して、フレームのロックを解除します。
2. フレームのレバーを下げます。



3. サンディングベルトが上向きになるように、本製品をひっくり返します。
4. フレームを前に押し、持ち上げます。



逆さ使用

⚠ 警告

逆さ使用にはクランプセット品（別販売品）が必要です。

- ・ クランプセット品を取り付けない状態で逆さ使用を行うと、事故の原因になります。

クランプセット品およびガイドルールセット品の取り付け、取りはずしの際は、スイッチレバーを触らないでください。

- ・ 事故の原因になります。

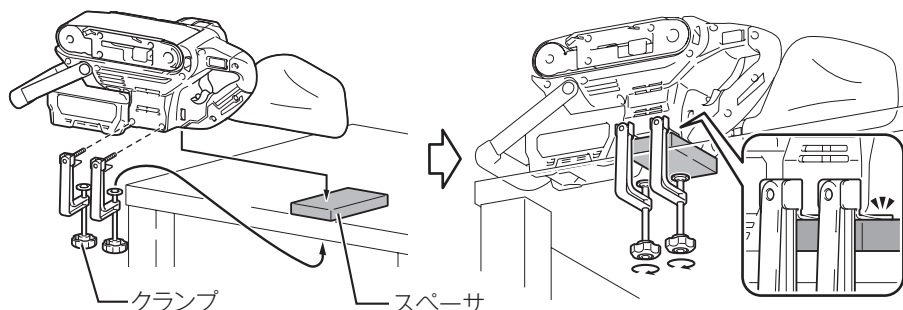
- ・ 本製品を逆さに固定して、被削材をサンディングベルトに押し当て研削することができます。

ガイドルールセット品（別販売品）を取り付けていただくと、逆さ使用時の研削がしやすくなります。

注

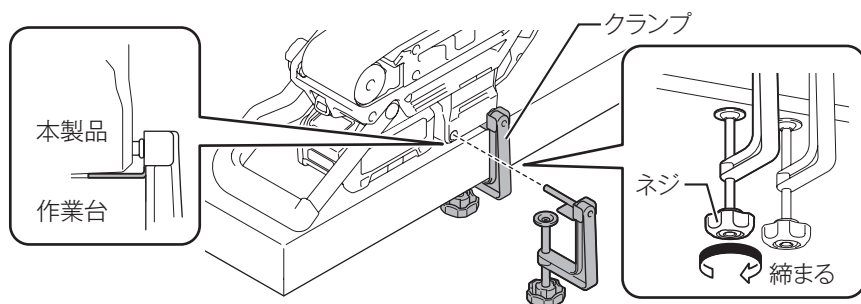
- ・ バッテリーが大きくスペーサが必要な場合は、下表を参考に、本製品と作業台との隙間がなくなるよう、スペーサ（木材の廃材など）を用意してください。

使用バッテリー（一例）	スペーサの高さ
BL4050F	23 mm

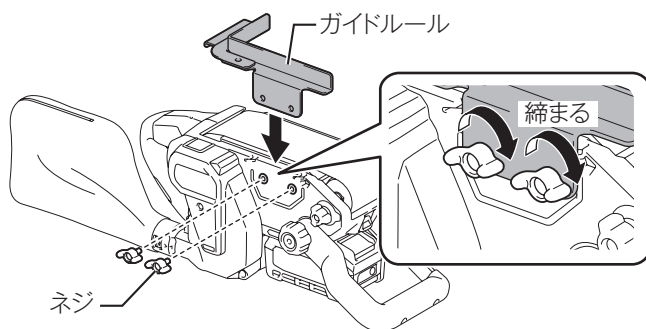


■ 逆さ使用の準備

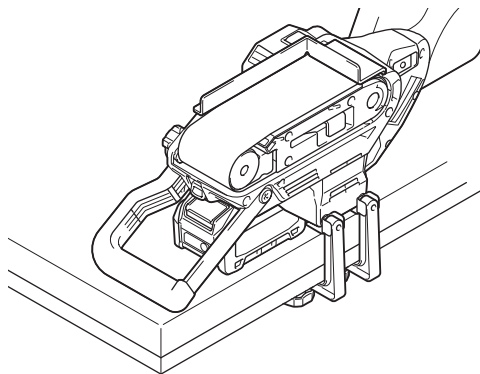
1. バッテリーを取り付けます (29 ページ参照)。
2. フロントハンドルをいちばん前まで倒し、フロントハンドル固定ツマミで固定します (30 ページ参照)。
3. ライトの角度をいちばん上に調節します (32 ページ参照)。
4. サンディングベルトが上向きになるように、本製品をひっくり返します。
5. バッテリーが大きくスペースが必要な場合は、本製品と作業台の間隙がなくなるよう、スペーサ (木材の廃材など) を用意してください。
6. クランプセット品 (別販売品) を取り付け、ネジを回して本製品を作業台に固定します (2 箇所)。



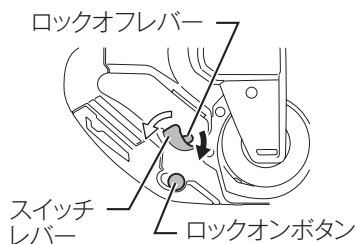
7. ガイドルールセット品 (別販売品) をご使用の場合は、ネジ (2 箇所) で固定します。



■ 逆さ使用時の研削方法



1. ロックオフレバーを下げて、スイッチレバーを押し込みます。
2. スイッチレバーを押し込んだ状態で、ロックオンボタンを押し込みます。
 - ・ 本製品が連続運転の状態になります。



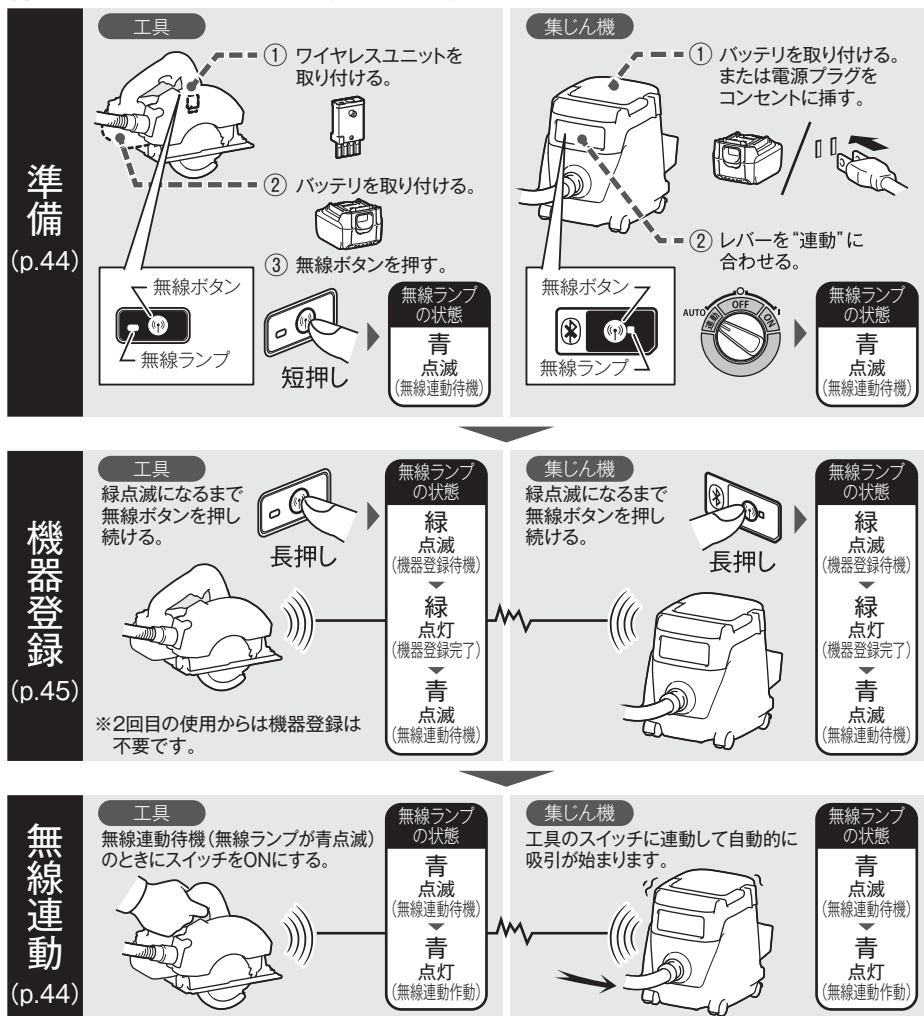
3. 被削材を持って、研削します。
4. 研削が終わったら、スイッチレバーを押し込み、スイッチレバーを放します。
 - ・ スイッチが切れます。

無線連動機能（AWS）

無線連動の手順概要

無線連動の大まかな手順は以下のとおりです。

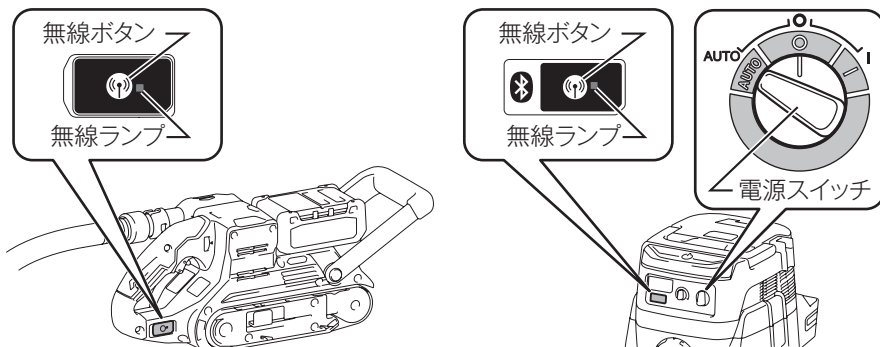
工具、集じん機の操作はどちらが先でもかまいません。くわしい操作方法是各ステップの説明ページを参照してください。



※ 製品のイラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。

※ 無線ランプが青点滅中に、工具側の無線ボタンを短く押したり、集じん機側のレバーを連動以外にしたりすると無線連動が解除されます。

- ・ 無線連動機能（AWS）を利用するには、無線連動機能に対応したマキタ純正工具と集じん機が必要です。
- ・ 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



Bluetooth® について



Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

ワイヤレスユニット（A-66151）の取り付け・取りはずし方

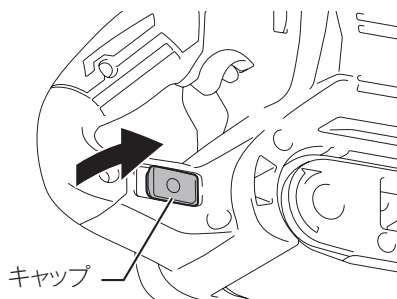
- 無線連動機能を使うためには、工具にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。

注

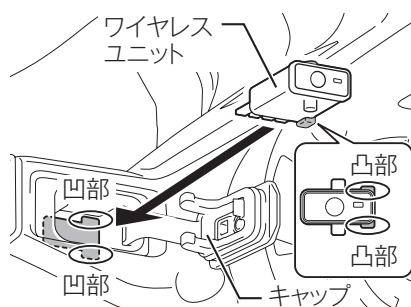
- ワイヤレスユニット取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。
 - バッテリーを差したまま行くと、ワイヤレスユニットの故障原因になります。

■ 取り付け方

1. キャップを開きます。

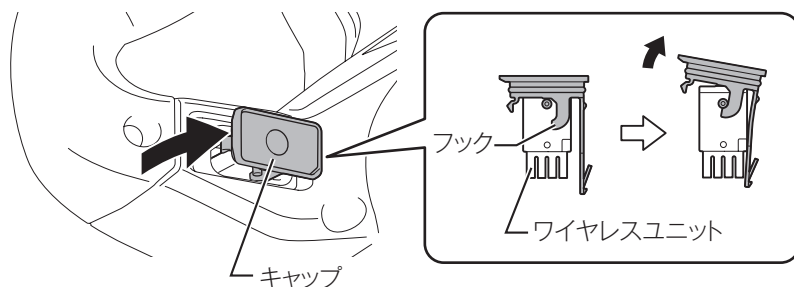


2. ワイヤレスユニットの凸部をスロットの凹部に合わせて挿入します。
3. キャップを閉じます。キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。



■ 取りはずし方

1. キャップを開きます。
 - ・ キャップのフックがワイヤレスユニットを引き出します。



2. ワイヤレスユニットを取り出して、専用ケースに保管します。
3. キャップを閉じます。

注

- ・ キャップは使用時も保管時も閉じておいてください。粉じんなどが入り、故障の原因になります。

無線連動の準備

1. 集じん機の電源スイッチを「連動（AUTO）」の位置に入れます。集じん機の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。
「OFF（O）」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。
工具の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。

無線連動

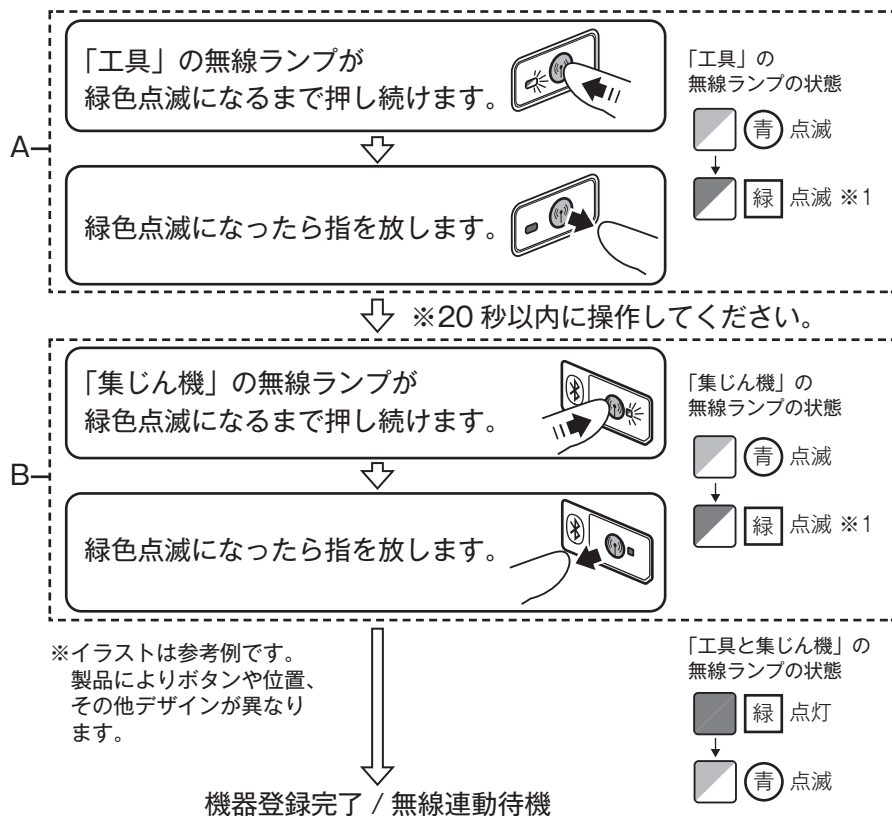
1. 無線連動させる工具には、以下のどちらかを行ってください。
①工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に機器登録をする（45 ページ参照）。
②機器登録をしたワイヤレスユニットを取り付ける。
2. 工具のスイッチを入れると集じん機が無線連動して集じんを行います。
無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。

注

- 電源スイッチが「連動（AUTO）」の位置でも、操作スイッチで運転 / 停止ができます。ただし、無線連動運転中は操作スイッチでの運転 / 停止はできません。
- 工具のスイッチが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- 工具のスイッチを切った後も、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。

機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（44 ページ参照）。

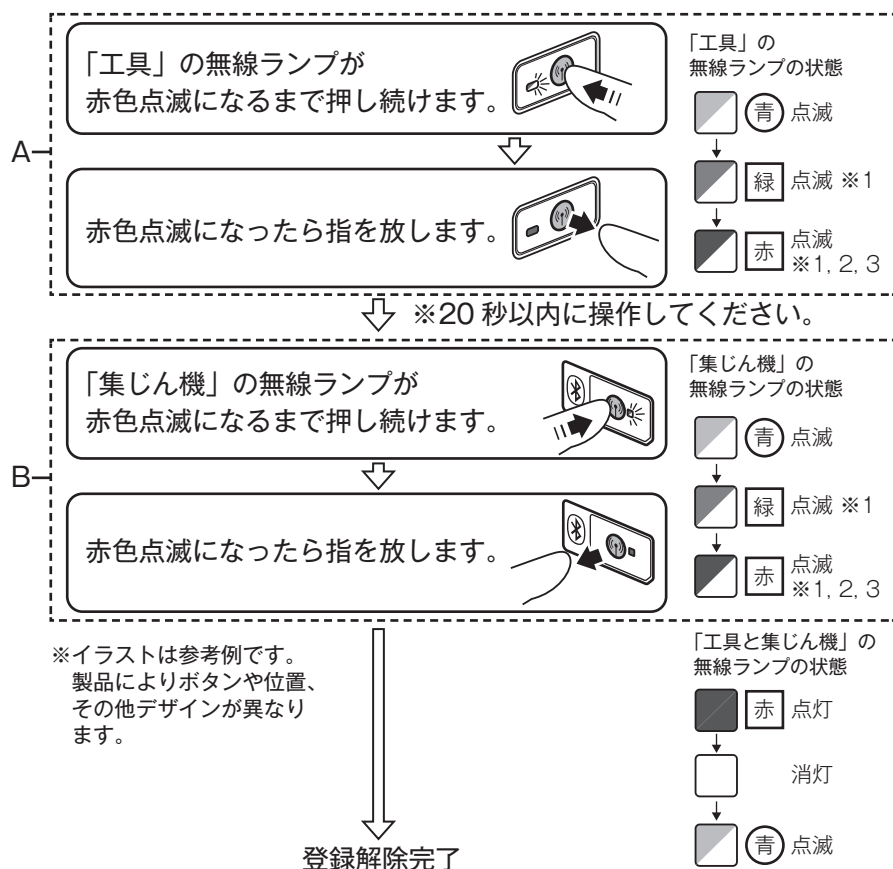


注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ※ 1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

登録解除

- ・ 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- ・ 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします（44 ページ参照）。

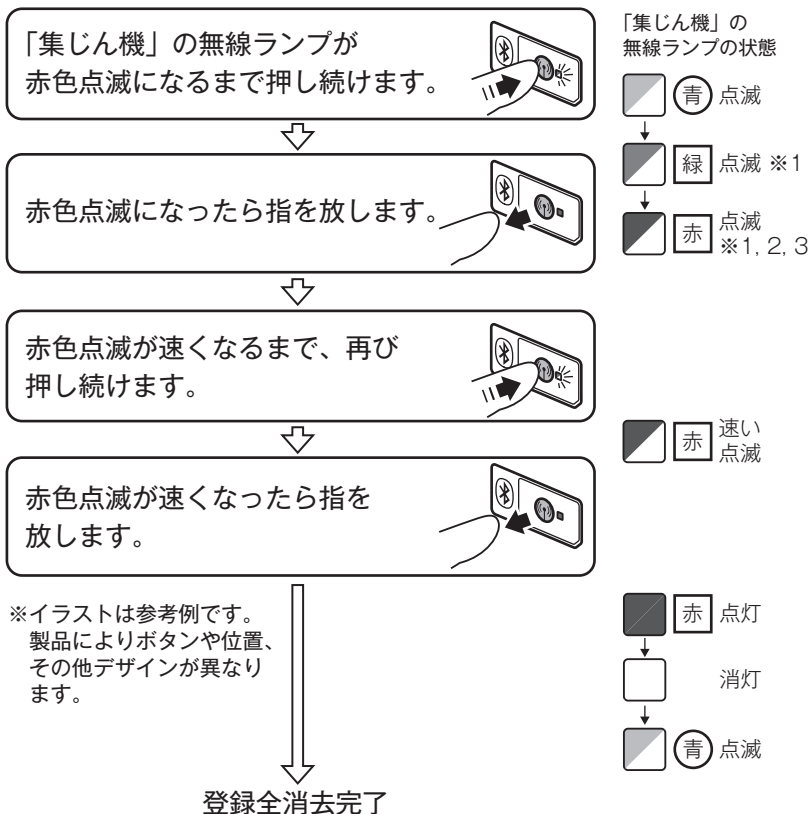


注

- ・ A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ・ ※ 1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ ※ 2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ ※ 3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

登録全消去

- ・ 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- ・ 操作は集じん機のみで行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします（44 ページ参照）。



注

- ・ ※ 1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ ※ 2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ ※ 3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線ランプについて

基本モード	色	点灯 / 点滅と継続時間		状態
待機	青	点滅	集じん機：連動（AUTO）時	機器登録の待機中です。
			工具：電源を入れ、無線ボタンを押したとき	
			機器登録の完了後	無線連動の待機状態です。
			工具：約 2 時間	無線連動機能が利用できます。無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能が停止します。
		点灯	運転中のみ	無線連動機能中です。
機器登録	緑	点滅	約 20 秒間	機器登録の準備中です。登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		点灯	約 2 秒間	機器登録が完了しました。その後、青色の点滅になります。
登録解除・登録全消去	赤	遅い点滅（2 回 / 秒）	約 20 秒間	登録解除の準備中です。登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		早い点滅（5 回 / 秒）	赤色の点滅後に、再び無線ボタンを押し続けたとき	登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。
		点灯	約 2 秒間	登録全消去が完了しました。その後、青色の点滅になります。
その他	赤	点灯	約 3 秒間	無線連動機能の起動中です。
	消灯	—	—	無線連動機能が停止しています。

注

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプが点灯 / 点滅しない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 42 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落とし、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。⇒ 44 ページ参照
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。⇒ 44 ページ参照
		集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
機器登録 / 登録解除ができない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 42 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落とし、取り付け直してください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。⇒ 44 ページ参照
		集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
	共通	操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 45 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 46 ページ参照
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください (最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します)。
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 45 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 46 ページ参照
		集じん機、工具の片方のみの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
		その他	周囲に強い電波を発する機器がある。
			Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 42 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落とし、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点滅になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 44 ページ参照
		集じん機の機器登録が 10 台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 45 ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 45 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください (最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します)。
		バッテリーの容量が少ない。	バッテリーを充電してください。 ⇒ 23 ページ参照
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。
工具のスイッチを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。	・ 使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 46 ページ参照 ・ 登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・ 登録全消去⇒ 47 ページ参照 ・ 機器登録⇒ 45 ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行えます。 ⇒ 47 ページ参照
	集じん機	スイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 44 ページ参照
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 47 ページ参照

- ・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

⚠ 警告

保守、点検の際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

保守

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 25 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

881K55A8
CRE

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）